



2014年1月～3月

活動案内版66号

里山あーと村 だより

SATOYAMA ATO-MURA

冬の里山あーと村は、森の木の葉がすっかり落ちて明るい森になります。晴れた日の森の中には日が差し込みぼかぼかと暖かく、夏には同じ場所が涼しい木陰になっていたことを思うと森はうまくできているなあ～と関心！長い年月をかけて築いてきた里山と人間との関係性が垣間見られる気がします。冬には冬の魅力があるあーと村です。



スケジュール

月	日 (曜日)	合同 行事	農部会			森部会	環境施設部会		
			やさいの会	そばの会	野外料理 研究会	森づくり	ものづくり	エコ エネルギー	ビオトープ
1	5 (日)								
	12 (日)					○			
	19 (日)						○		
	26 (日)	(とんどは2月2日に変更)							○
2	2 (日)	とんどまつり	○						
	9 (日)					○			
	16 (日)						○		
	23 (日)				○			○	○
3	2 (日)	ボランティアの日	○						
	9 (日)					○			
	16 (日)	阿戸町ウォークラリー		次週に変更			○		
	23 (日)			○				○	○
	30 (日)								
4	6 (日)		○						
	13 (日)	里山の春さがし							

※里山の春さがしについての詳細は3月上旬に会員の皆様への里山の会更新のお知らせとともにご案内します。

ボランティアの日

阿戸町の皆さんと一緒にあーと村の周辺の清掃を行います。日ごろお世話になっている感謝の意味を込めて、一緒に清掃を行いましょ！午前中一時間程度の清掃です。ご参加いただける方は事務局までご連絡ください。

阿戸町ウォークラリー

阿戸町の魅力を再発見！クイズに答えながら、阿戸町内を半日かけてぐるりと回ります。入賞者には豪華景品も用意されていますよ！！申込＆お問い合わせは事務局まで。

合同行事

とんどまつり

小正月に行われる火祭りのとんど。お正月に門松やしめ飾りでお迎えした神様をお見送りする意味があるそうです。竹やわらを組んだやぐら(とんど)が目の前で「バシーッ、パンパン」と大きな音を立てながら、燃え上がる姿は大迫力！また、どんどの火で焼いたお餅を食べると一年間は病気が逃げるとも言われています。

▼日時

2月2日(日) 9:30~13:30

▼スケジュール

9:30~ 受付
10:00~ 書き初め
もちつき
とんどの準備
11:30~ とんどの点火
昼食(お餅、お汁)
13:30 片付け、解散

▼参加費

会員200円 一般400円

▼申込方法

電話、FAX、はがき、E-mailで住所、電話番号、参加者全員の氏名、年齢を事務局までお知らせ下さい。
1月23日(木)必着。

部会の活動

やさいの会(第1日曜日 他)

2月2日(日) 14:30~(とんどまつり終了後)

①畑の管理(冬野菜の片づけ、小屋の道具整理等)

※路面の凍結に注意してください

3月2日(日) 9:00~

(路面凍結が心配される場合は開始を30分遅らせませす。この場合はメンバーに変更の連絡をします)

①畑の管理(冬野菜の片づけ、ジャガイモの植付け、耕うん作業等)

②作業と並行して阿戸町内の清掃に参加

4月6日(日) 9:00~

①畑の管理(畝立て、耕うん作業、夏野菜の準備等)

▼持ち物:飲み物軍手・タオル・作業しやすい服装(防寒対策)・汗をかいた後の着替え

そばの会(変則の日程)

3月23日(日) 9:00~

そば打ち練習

★今年度のそばについて

今年のそば栽培は不作に終わりました。収量がほとんどなく、非常に残念でした。今年の8月の高温と9月の長雨が原因ではないかと考えています。

野外料理研究会(変則の日程)

2月23日(日) 10:00~15:00ごろ

パエリアづくり

来年度の活動内容についての話し合い

▼持ち物:米(無洗米が望ましい)2合、サフラン、えび、あさり、好きな野菜、塩、コンソメ、なるべく大きいフライパンとそのふた

森づくり(第2日曜日 他)

1月12日(日) 9:30~14:30

2月9日(日) 9:30~14:30

3月9日(日) 9:30~14:30

水車小屋付近の整備

▼持ち物 汚れても良い服装、靴、手ぬぐい、帽子、軍手、飲み物など

★森づくりひとこと memo

上記以外の日程でも不定期で開催しますので、興味のある方は事務局までお問い合わせください

ものづくり(第3日曜日 他)

1月19日(日) 9:30~14:30

2月16日(日) 9:30~14:30

3月16日(日) 9:30~14:30

ログハウスデッキ、2階の床の改修

1月20~25日 9:30~

2月3~9日 9:30~

3月24~30日 9:30~

石窯づくり(火入れ、温度上昇テスト不具合対策、扉づくり、薪づくりなど)

▼持ち物 作業に適した服装、軍手、手ぬぐい、帽子、飲み物など

エコエネルギー(第4日曜日 他)

2月23日(日) 9:30~

太陽光発電施設設置

3月23日(日) 9:30~

既設メンテナンス

ビオトープ(第4日曜日)

1月26日(日)9:30~

2月23日(日)9:30~

3月23日(日)9:30～

草刈りなど環境整備、生き物観察

▼持ち物 汚れても良い服装、長靴、帽子、手ぬぐい、軍手、飲み物、弁当など

★里山ビオトープ

～ビオトープは冬景色・生き物たちは冬眠に～

里山あーと村のビオトープで冬の訪れを象徴するのは冷たく澄んだ池の中です。夏の間、池の中でも周囲の草藪の中でも多くの生き物たちによってさまざまなドラマが展開されました。

12月に入って枯草に囲まれた池の中をのぞき込んでも、あれだけ活発に泳ぎまわっていた生き物の姿も動きも全く見られなくなります。しばらく池の周りを歩きながら観察を続けていると、水底で黒い小さな動きがありました。よく目を凝らしてみると、足音に驚いた1cmぐらいのメダカの稚魚でした。注意して見ると同じような仲間がもう一匹大急ぎで逃げていきます。小さくても生き物の姿を見ると「ホッ」と安心します。

池の反対側の水中に草が多く生えている場所がありますが、その草の間を2cmぐらいのメダカの幼魚があわてて逃げていくのを見ました。メダカノ稚魚や幼魚は居ましたが、成魚は池のどこに潜んでいるのか一匹も発見できませんでした。やはり「年の功」で、水中の草の間に冬の隠れ場所をうまく選んで潜んでいるのだらうと思います。

池の中のもう一つの主役「イモリ」は冷たい水から這い出して湿った落ち葉の間にもぐり込んでいます。落ち葉をはぐると迷惑そうに体をくねらせ足や尾をモソモソ動かして抗議を始めます。静かに冬眠のフンを元に戻しました。

(渡辺秀人)

あーと村伝言板

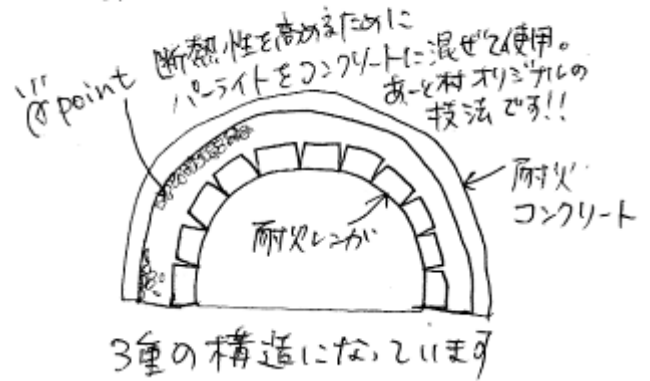
石窯がいよいよ完成！



昨年度から取り組んできた石窯がいよいよ完成に近づいてきました。石窯本体は12月下旬に完成しました。正月明けには初めての火入れを行います。その後は

何度か火を入れてテストを行い、不具合を修正していきます。26年度からはピザ作りなど石窯を使ったイベントをどんどん行っていきますので、お楽しみに♪

あーと村特製 石窯断面図



↑ 断面図写真



↑ 作業の様子

里山の冬支度～井戸水の凍結防止～



冬場に井戸水をくみ上げるポンプの部分が凍らないように、ヒーターを取り付けました。もちろんバッテリーは太陽光発電で充電したものです。これで、冬場もばっちり井戸水が使えるようになりました。エコエネルギー部会の皆さま、ありがとうございます！

里山収穫祭開催結果

11月17日(日)に開催しました。参加者は総勢150名でした。まず棚田でのサトイモ、サツマイモ、ピーナツの収穫。特にピーナツの生育の様子は、はじめて見られる方が多く、収穫の時には歓声が上がっていました。お昼ごはんは阿戸町のもち米を使ったお餅と収穫したばかりのサツマイモをダッチオーブンで焼いた焼き芋と、サトイモをつかったトン汁、地元婦人会がつくられた炊き込みご飯でした。その後は阿戸町農業祭の野菜品評会のセリ市にも参加し、秋の実りを味わいつくした一日でした。



←ピーナツの収穫



みんなでお餅つき→

里山つれづれ Vol.5

(あーと村との出会い)

私とあーと村との出会いは今から15年前の1998年、22歳の長女が小学校1年生の時です。

その頃は「手づくりの里」という名称で、田んぼの横の農具小屋以外に建物も看板もなく、トイレも工事現場で見る仮設のものでした。初代会長山田松司氏を中心に、大工の加藤好氏・製材所の平本氏の指導のもと、まず山から杉を切り出して製材し、現在の「みのりの家」をみんなで建てました。小学校の業務員の仕事をしていた私は、この時から加藤さんの指導のもと、ものづくりを続ける事となりました。

(引っ越し)

平成16年中野小学校から転勤する事となり、増えすぎた「ウコッケイ」の小屋が必要となって阿戸へ引っ越ししました。畑を借りて鶏舎兼農具倉庫を建て「ウコッケイ」約30羽を飼い始め、そば・大豆・小麦等を育て自分で製粉し、うどんやお好み焼きを作り自家焙煎麦茶を飲んだりしています。

(田舎暮らし)

私の故郷は長崎県の五島列島で西海国立公園の中にあり、家にカマドと五右衛門風呂があって豚・羊・ヤギ・ニワトリを飼っていました。羊の毛でセーターを編み、家畜

も家でしめて料理し、麦と豆で味噌を作り、保存食もいろいろと作っていました。椿油をしぼり、テングサから寒天を作ったりと、今考えるとすごい事をやっていたと思います。今でも焚き火が好きなのはカマドの火を見て育ったからかもしれません。

(遊びと学び)

私たちが子供のころは、今と違って中学生以下で年齢に関係なくよく集まってよく遊んでいました。

トリモチの木の皮からトリモチを作って「メジロ」をとり鳴き声を競わせたり、針金と竹と自転車のチューブで手製のモリを作ったり、木の上に秘密基地を作ったり、魚や鶏のさばき方、薬草や毒のある物、食べられる物、ガケの登り方、山芋の掘り方、ワナのしかけ方、落とし穴の作り方などさまざまな事を兄や年長の人達に教わりました。冬の寒い中トリモチの上にメジロが乗るのをジッと待ち近づいてきた時のワクワク感、鶏の毛をむしる時の温かい感触からだんだん冷めてむしりにくくなる感じ、トリモチの木の皮の味等今でもハッキリと覚えています。

今思うと相当危ない事をやっていましたが、火の燃やし方以外は大人が口を出す事はありませんでした。

遊びの技はしっかりと伝承され大人達にも認められていたのだと思います。

(自然あそびのすすめ)

学校には時々山で子供たちが遊んでいるとか基地を作っていると通報がきます。今や絶滅危惧種となっている「山ガキ」の存在に嬉しくなりますが、残念ながら子供たちが遊べる場所や見守る大人が足りません。親も含めて里山の仕事、遊びの文化を伝えていく活動が求められています。テレビゲームでは得られない本物の体験を若い世代に伝えていく場所として「里山あーと村」の活動が参加者と一体となって広がる事を願います。

(野外料理研究会・瀬野川ホタルの会・広島きのこ同好会・ほしはら山の学校・ろうきん森の学校・自然体験推進協議会・広島県キャンプインストラクター阿戸在住 尾上隆二)

お問い合わせ・お申し込み先

里山あーと村運営協議会事務局

■住所 〒736-8501

広島市安芸区船越南三丁目 4-36 安芸区役所農林課内

■電話 082 - 821 - 4946 (農林課直通)

■ファクス 082 - 822 - 8069 (区役所代表)

■e-mail ak-norin@city.hiroshima.lg.jp (表題に「里山あーと村」をつけて下さい。)

■ホームページ <http://atomura.sakura.ne.jp/> (運営協議会ホームページ)

広島市のホームページ → 安芸区役所のホームページ → 里山あーと村 (広島市のホームページ)

※阿戸町連合町内会のホームページ (https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/ato/) のリンク集からも

里山あーと村

SATOYAMA ATO-MURA